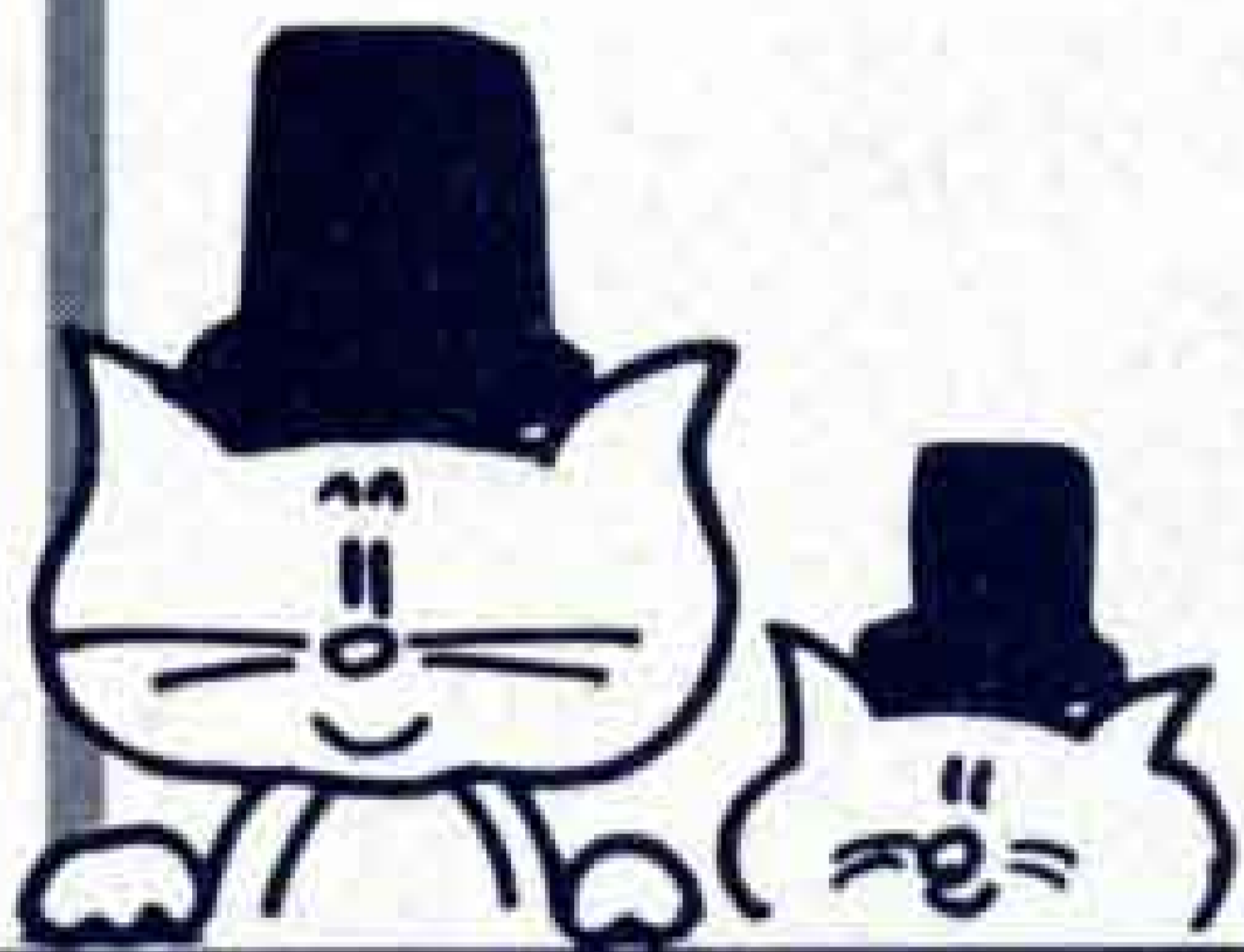


今月のテーマ

お便り
コーナー



あなたのお便りを
お寄せください

このコーナーは、皆さんの意見交換の場とさせていただきます。テーマに基づいた、あなたの意見や提言などをどしどしお寄せください。

お便りをお待ちしています。

◇応募される人は、原稿用紙へ300字程度にお書きください。趣旨を変えないで原稿を直すことがあります。住所・氏名・年齢・連絡先を忘れずにお書きください。

◇送り先は 〒417 市内永田61-1 市役所広報広聴課

原稿締切日は、毎月20日です。

私の、わが家の夏休み

夏休みというと、かつては子供の年中行事の一つでしたが、最近は大人もその仲間入り——。海や山へのレジャー、家族旅行や帰省など夏休みは子供ばかりか大人にとっても楽しいものです。そこで今月は、「私の、わが家の夏休み」というお便りをいただきました。

学生最後の夏休み

天野清美さん(19歳)
学生 吉原1丁目



私にとって学生生活最後の夏休みです。今まで何かとあわただしく授業に追われてきたという感じなので、

この2ヵ月間の夏休みを有意義に過ごしたいと思います。

まず、前半の1ヵ月間はアルバイト、あとの1ヵ月間は自由に過ごします。旅行の計画としては、友だち6人と清里へ行きます。ペンションやショッピングなど、普段この付近にない雰囲気味わいたいと思います。それから、これは将来の希望ですけれど、ヨーロッパへぜひ一度行きたいです——。でも、その前にお金を貯めなければなりません。

アルバイトと旅行のことを書きましたが、実はこの夏休み中宿題もたくさんあるんです。

やはり、これを1番先に片づけておかないと——。

あっ、それから今年の夏、ぜひステキなボーイフレンドを見つけたいですね。

テーマ

■ 9月は「私にとって老後とは」

■ 10月は「私とスポーツ」

戦後、急速に増加してきた、わが国の高齢人口。昭和58年に総人口の9%だった高齢人口は、昭和80年には17%を超えるものと推計されています。平均寿命もさらに伸びることが予想され、老後をどう生きるかは重要な問題です。まだまだ若いと思っているあなたも、いずれはお年寄りの仲間入り。あなたの老後についての考えをお聞かせください。

スポーツの秋——。ゲートボール、ジョギング、バレー、テニス、野球と団体、個人、老若男女を問わず、盛んにスポーツが行われています。

スポーツ好きの人、健康のために始めた人、動機はそれぞれまちまちでしょうがスポーツを通じての健康づくり、仲間との交流などスポーツは楽しいものです。10月のテーマは「私とスポーツ」です。

心が弾む夏休み

今井尚子さん
依田橋(28歳)



富士市に生まれ、富士市に育った私にとって、小さい頃から夏休みは暑くて長い休日という印象しかありませんでした。しかし、主人と結婚して4年。夏休みには、主人の実家がある新潟へ帰省するようになってから、夏休みが私に楽しい時を与えてくれるようになりました。

みんなが寝静まった頃、車を走らせて8時間、もうそこは私の小旅行地新潟です。小さな頃から、県外に

あまり出たことのない私にとって、目に入るもの、人の話す言葉すべてが新鮮で夏の暑さを吹き飛ばしてくれます。だから私は、ことしの夏休みも主人と3歳になる息子と3人で帰省します。それは、学校が休みになった子供が、親にせがんでどこかへ連れて行ってもらうときのように、心が弾む夏休みです。

わが家の年中行事

深沢三保子さん
伝法1丁目(36歳)



△キャンプ計画を練る深沢さん親子

「ことしはどこへ行くの」夏休みが近づくと、子供たちが楽しそうに問いかけてきます。

わが家の夏休みの年中行事、キャンプの行き先を尋ねてくるのです。

5年前、丸火のファミリーキャンプへ参加、以来毎年夏になるとキャンプへ出かけるのが恒例です。

キャンプの楽しさは、出発前から始まります。計画を立てるのに始まり、毎年少しずつそろえるキャンプ

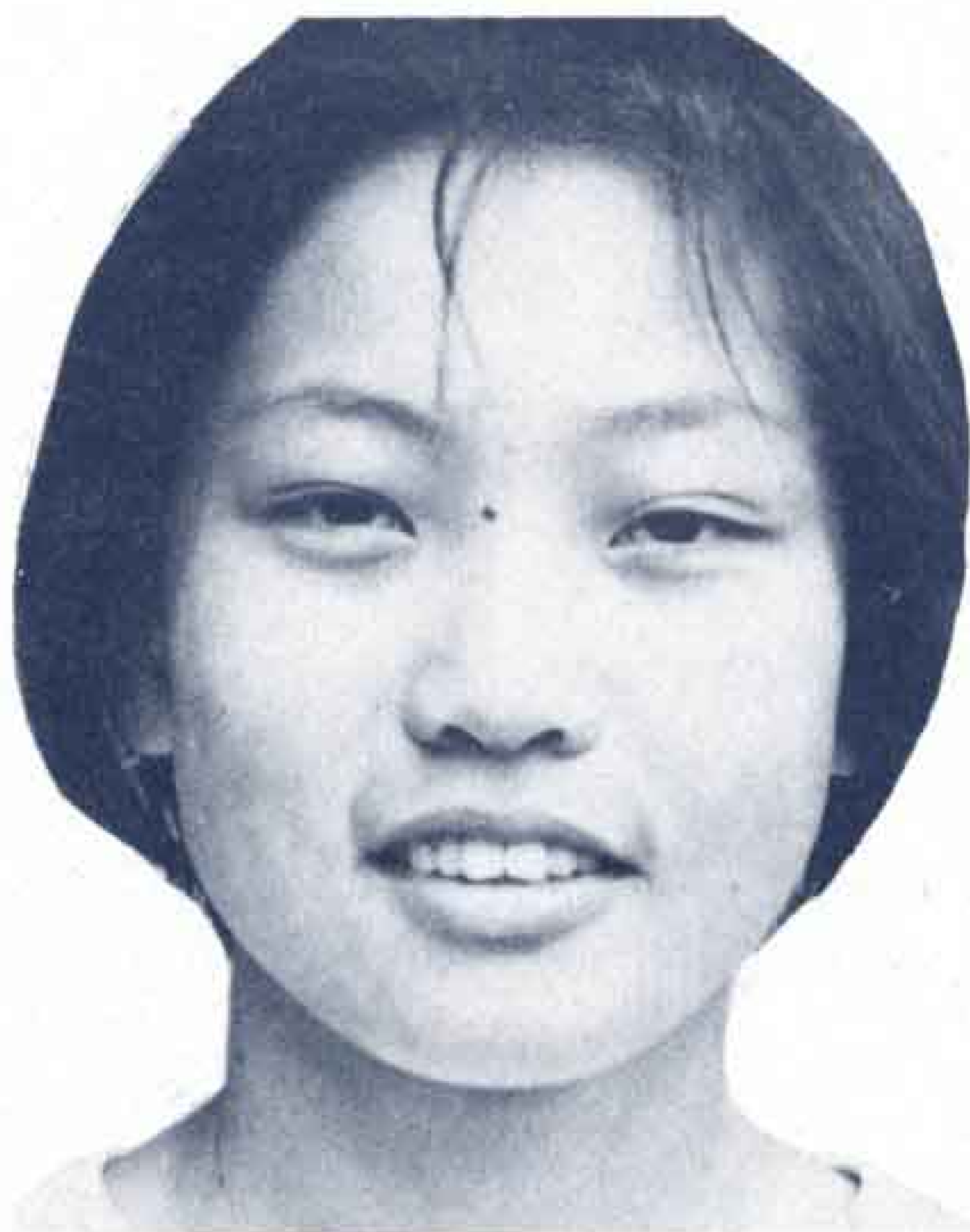
用品の買物も楽しみの一つです。

去年のキャンプ地は能登、子供たちはテント張り、買い物、火おこしなど積極的に協力してくれ、自分たちで考え、助け合ってやることを覚えたようです。

家では見られない兄弟の結びつきなどキャンプを通して、子供たちのいろいろな面にも接することができました。これからもわが家の年中行事として続けたいと思っています。

「学校、家庭、それに地域が花いっぱいになったらステキだと思えます……。」と松本さん。第十一回緑化作文コンクールの中学校の部で、応募点数四十八点の中からみごとに緑いっぱい市民の会会長賞を受賞。

松本さんの通う吉原北中は、昨年から学校ぐるみで花いっぱい運動に取り組んでおり、その一つとして一人一鉢運動を実施。これは、松本さんが昨年、生徒会の役員に立候補したときの提案だです。作文は、学校あがりの緑化運動と家庭での家族全員による緑に対する思いやりなど、体験を通して得たことを素直に文章表現しています。審査員にもこのような点が高く評価されました。好きな科目は国語と英語。それに部活動では、水泳部に籍を置き活躍しています。三人姉妹のまん中で、どちらかというとおとなしいタイプ。両親と五人家族です。



第12回 緑化作文コンクールで緑いっぱい市民の会会長賞を受賞

松本香子さん

吉原北中3年